

令和2年1月31日

横浜市教育委員会
教育長 鯉淵 信也 様

横浜市社会教育コーナー 指定管理者
特定非営利活動法人 横浜市民アクト
理事長 福島 伸枝



横浜市社会教育コーナー事業計画書等の提出について

横浜市社会教育コーナーの管理運営に係る事業計画書等を次のとおり提出いたします。

【提出書類】

- (1) 横浜市社会教育コーナー事業計画書 (案)
- (2) 横浜市社会教育コーナー管理業務収支予算書 (案)
- (3) 横浜市社会教育コーナー資金計画表

令和2年度 社会教育コーナー管理業務収支予算書案

		内訳	令和2年度予算案	平成31年度予算
項目	指定管理料	人件費・管理費等概算,(利用料金減免補填含む)	12,879,000	12,730,000
	利用料金収入	施設利用料・付帯施設利用料(ピアノ・ロッカー・その他)	3,500,000	3,500,000
	事業収入	自主事業(事業計画(案))参照	290,000	290,000
	その他収入	自販機、コピー・印刷等	300,000	349,000
収入合計(A)			16,969,000	16,869,000
項目	人件費	常勤職員給与、法定福利費(社会保険料等)通勤費	11,186,000	11,217,000
	管理費	清掃費、水道光熱費、電気設備保守点検、消防設備保守点検、設備点検費	2,450,000	2,390,000
	事業費	自主事業費より、講師謝金、会場費、その他経費	848,000	526,000
	事務費	消耗品費、通信連絡費、印刷製本費、備品購入費、保険料など	1,185,000	1,640,000
	指定額(小破修繕)		300,000	300,000
	公租公課		1,000,000	796,000
支出合計(B)			16,969,000	16,869,000
収支差額(A)-(B)			0	0

令和2年度 資金計画表

(千円)

区分	予算額	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		1,073	1,073	1,073	1,073	1,073	1,073	1,073	1,073	1,073	1,073	1,074	1,074	
収入	指定管理料	12,879	3,219		3,219		3,219		3,219		3,222		12,879	
	利用料金収入	3,500	291	292	291	292	291	292	292	292	291	291	292	3,500
自主事業収入	自主事業収入	290	25	25	24	24	24	24	24	24	24	24	24	290
	その他収入	300	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300
各月収入合計		1,414	1,415	1,413	1,414	1,413	1,414	1,414	1,414	1,414	1,415	1,414	1,415	16,969
各月収入合計(A)		4,242												16,969
支出	人件費	11,186	932	932	932	932	932	932	932	932	932	932	934	11,186
	管理費	2,450	204	204	204	204	204	204	204	204	204	204	205	2,450
自主事業費	自主事業費	848	70	71	71	70	71	71	70	71	70	71	71	848
	事務費	1,185	99	99	99	98	98	99	99	99	99	99	99	1,185
指定額(小破修繕)	指定額(小破修繕)	300	10	35	25	30	30	25	30	25	20	20	30	300
	公租公課	1,000	83	83	84	83	83	83	84	83	83	84	84	1,000
各月支出合計		1,398	1,424	1,415	1,417	1,418	1,414	1,419	1,414	1,408	1,409	1,410	1,423	16,969
各月支出合計(B)		4,242												16,969
収支差額(A-B)		0												0

横浜市社会教育コーナー 令和2年度事業計画(案)

事業目標

- 1 生涯学習・社会教育に関する情報の受発信並びに相談・コーディネートの充実を図る
- 2 学校教育・社会教育の人材育成の強化と支援の充実を図る
- 3 横浜の読書活動を推進する

	事業名	ねらい・目標	内容	回数	募集人員
場の提供	場の提供	施設の適切な管理と充実した運営をスタッフ全員で行う	研修室・トレーニングルーム・アートルーム・スポーツ広場等の適正な管理		
事業目標1 情報の受発信 相談・コーディネート	ホームページの管理・運営	横浜市内を中心に機関・施設・団体の各種情報を集約し発信、横浜の学習活動をより活発にしていく	社会教育コーナーのホームページに自主事業をはじめ市内機関・施設・団体のイベントや講座情報を掲載し広く周知していく		
	メルマガ発行		ホームページにアップした情報を中心に機関・施設・団体等の各種情報を登録者に定期的に配信提供する。月1回発行 登録者626人		
	会員募集团体一覧冊子の発行		会員募集の団体の情報を取りまとめて一覧冊子とホームページに掲載。冊子は市内各機関と区内の各施設に配布。		
	掲示板や館内掲示の充実		コーナー前の歩道に設置されている掲示板を一部開放。又、館内の壁、配架ラックに市内機関・施設や団体のイベントや講座のポスターやチラシを配架・掲示する		
	相談・コーディネート		登録団体の情報をはじめ、市内外の情報を含め、より充実した学習情報の提供をする。また、市民・学校地域コーディネーター・読書推進のボランティア等の活動の充実を図る	地域のサークル情報から団体の運営に関する内容まで幅広く対応していく	
事業目標2 人材育成の強化と 支援の充実	学校・地域コーディネーターのネットワーク	学校・地域コーディネーターがそれぞれの活動に関する課題の共有、情報交換の場の提供とネットワーク化を支援する	講座修了生に声を掛け、毎月定例で開催。連携して講座の開催や学校見学なども企画・運営していく。	11	15
	学校・地域コーディネーターフォローアップ講座	学校・地域コーディネーターに必要な情報提供やスキルアップを図る講座を企画運営のための支援をする	コーディネーターの活動に役立つ内容をテーマに年3回開催。学校地域コーディネーター連絡会との共催	3	40
	生涯学習関係職員への対応	学習活動のための環境整備や主体的に活動する市民育成など職員としてのスキルアップを支援する	職員を4方面担当とし、それぞれが各区支援センターや関係機関に出向き現状を把握。具体的な課題等について解決が図られるよう支援を行う	随時	
	保育ボランティアグループ「ダリア」	保育ボランティアグループとしての自立化を図り、併せて母親の学習支援の充実と地域の活性化を目指す	グループとして自立して活動できるよう活動の場の提供と保育活動やグループ活動に必要な知識や技術のスキルアップを行う	12	10
	家庭教育学級「ぱんぷきん」	乳幼児を持つ親同士がともに子育てや社会的課題について学ぶと共に、つながって仲間づくりや社会参加の一步とする	母親たちが企画運営していく連続講座(保育付き)運営委員会形式で講座参加者の支援も行う。	5	20組
事業目標3 横浜の読書活動の推進	読書活動推進 ①おはなし会ボランティア養成講座	学校や地域でおはなし会や読み聞かせの活動をしている人を対象に、基本的な考え方やスキルアップを図る。	活動者のスキルアップのための連続講座。おはなし会や紙芝居の実際や意義、実践までを学び、地域や学校での活動に生かす。読書活動推進プロジェクトとの共催事業	4	30
	②講演会			2	50
	③パネルシアター講座			2	30
	おはなしの国	おはなし会ボランティア養成講座修了生や地域・学校で読み聞かせやおはなし会をしている人たちの実践の場の提供。	毎月第3土曜日に予定。幼児から大人を対象に「おはなし会」を実施。併せて実践者同士の交流会を行う	12	20
	読書関係団体伴走支援	BTLコスモス(ブックトーク)・大人の図書室の2グループの自立化を図る	2グループが名実ともに主体的に自立して活動できるよう、活動に沿ってアドバイスをを行う		
	紙芝居口演会・交流会	横浜市内各区にある昔話やそれを元に作成した紙芝居をツールにした交流会や相互学習を行う	横浜の昔話を題材にした本・紙芝居・影絵等を持ち寄り実演発表しあう事で、活動者が区を超え横浜の物語に触れる機会を作る	1	25

	事業名	ねらい・目標	内容	回数	募集人員
交流の機会をつくる	大掃除 & 交流会「大掃除しましょ♪」	登録団体が清掃をきっかけにお互いの活動を知り、顔の見える関係をつくる	毎年12月末実施。登録団体に呼び掛け一緒に大掃除と交流会を行う	1	40
	盆栽カフェ	気軽に参加でき、出会った同士でコミュニティを創る	造園会社のCSR事業として地域貢献事業。小さな盆栽や植物を使った作品づくりをツールに社会参加のキッカケを創る。	10	15
	親子の広場	乳幼児を持つ親が集い、遊びを通じて交流する	毎月最終月曜日実施。手遊びや歌遊びを楽しみ雰囲気の中で行う。活動団体との連携事業。	10	25組
学習機会の提供	考察 人材バンク	人材バンクの目的の再確認と課題を共有し、事業の活性化を図る	各区で展開している人材バンクの現状を調査し、研修会を通して事業の課題共有と今後の展開について考察する	2	20
	子どもアドベンチャーマッチング事業	子どもたちが仕事体験等を通して社会とつながるきっかけづくり	教委主催の子どもアドベンチャー事業に対し、会場提供と事業を提供する団体とをマッチングするコーディネートを行う	1	
	ママフィットネス	近隣に住む親子を対象に気軽にコーナーに来てもらい、その後家庭教育学級運営委員や親子の広場の運営など社会参画への呼びかけにつなげる	参加者目線の内容のボディライン引き締めなど、無理なくできる体操を楽しむ。また、3回に1回は「しゃべりば」を実施し、気軽に参加・交流のできる場を目指す	12	13組
	自習支援 ぱれっとルーム	学習障害を抱えたり、様々な理由で勉強が遅れている子どもの学習支援	社会的課題支援事業として位置付ける。毎週実施し学習の継続性を担保していく。 自習支援 ぱれっとルームとの共催事業	40	
他機関・団体等との協働	横浜山手芸術祭への参画	開港当時の雰囲気が残る山手西洋館などと連携して事業を行うことで、相互理解と連携事業の推進を図る	山手芸術祭実行委員会に参加、山手の各西洋館で行われるイベントの企画・運営に携わる	随時	
	磯子区内子育て支援ネットワークとの連携	区内の子育て支援の一環として様々な機関や施設が連携し事業を推進していく	定期的な連絡会に参加し情報交換などを行い、子育て環境の充実を図る	随時	
	読書活動推進プロジェクトとの協働	横浜市内の地域や学校、高齢者施設でのおはなし会や読み聞かせ活動の推進を図る	市内各地で活動するメンバーが定期的に集い、事業企画や情報交換を行い、読書活動にかかわる人々の拡大ならびにスキルアップにつながる講座を提供する。	随時	
	子育てグループ「ばばるーん」との協働	親子の広場の円滑な運営を図る	子育てグループと一緒に親子の広場の企画・運営を行うことにより、より充実した広場事業を提供する	10	
	自習支援ぱれっとルームとの協働	学習障害を抱えたり、様々な理由で勉強が遅れている子どもの学習支援	社会的課題支援事業として位置付ける。毎週実施し学習の継続性を担保していく。また担い手育成の実施も行う	随時	
	磯子区NPO連絡会への参画	磯子区内のNPOと連携して事業を企画運営することにより、磯子区の様々な活動を活発にする	磯子区内のNPOと連携して事業を実施	随時	
	磯子区館長連絡会への参画	磯子区内の施設の連携と情報共有を進める	磯子区内の施設長が情報交換や連携を図り、協力して「いそっぴーゴールデンウィーク」を開催	随時	
	Yokohama学校地域コーディネーター・フォーラム実行委員会との連携	コーディネーター実行委員会が主催するフォーラムの後方支援を図る	実行委員会が円滑にフォーラムを開催できるよう事務局的役割を担う	随時	
	磯子図書館との連携	相互に連携し、情報交換を深めて市内の子どもの読書環境を整えていく。	ボランティアの養成・交流会、図書館主催の懇親会出席や本の団体貸出を受けている	随時	
	市内・区内の関係機関との連携	同様の事業を展開している区版支援センターや市民利用施設等との連携を探る	社会教育コーナーの周知、連携して事業を展開していくためにそれぞれの特性や強みを考える。	随時	
広報・周知	各種事業の周知・PR	区内はもとより、市内の各種機関や施設に依頼して広く事業の広報を行う 今年度はリーフレットのリニューアルを検討	各種事業開催時にコーナーのリーフレットを配布。磯子区役所の広報紙への掲載。タウン誌掲載や磯子区内をはじめ横浜市内の各種機関・施設にチラシの配架を依頼する。	随時	
評価・検証	利用者会議	登録団体の代表者による懇談会。活発な意見交換の内容を今後の管理運営に生かす。	普段利用している団体の代表者による懇談会。頂いた意見を管理運営に反映させていく。	1	
	利用者アンケート	登録団体から施設の利用に関して要望や意見を収集。管理運営に反映していく	時期は未定。2か月間程度実施予定	1	
	事業アンケート	事業ごとに毎回アンケートやふりかえりを実施し、ニーズや参加者の変容などからその事業の成果を知る。	事業開催時に毎回アンケートを実施。ニーズや参加者意識なども併せ、今後の事業の参考とする	随時	
研修	生涯学習・市民活動に関連する研修への参加	業務に必要な内容等の情報収集やスキルアップを図る	行政・企業・大学・NPOなど各セクター開催の研修会へ随時参加する	随時	